

備前市 伊里「社日塔」巡り

県道261号沿線 ドラマチック歴史街道「儒学の道」



※山田原・社日塔の正面(天照皇大神)は、正しく設置され北向きです。

最近、ツツハズが有ることが分かりました。が、この「社日塔巡り」も、似たように、自然な風景を見ながらの散歩用のコースです。

	伊里駅より
伊里駅	0 Km
灰延・社日塔	0.5 Km
井田・社日塔	1.5 Km
家中・社日塔	3.8 Km
山田原・社日塔	6.4 Km
徳当・社日塔	6.7 Km
木谷交差点	7.6 Km
福神社・社日塔	9.6 Km
閑谷学校	11.9 Km
吉永駅	15.9 Km
木谷交差点	7.6 Km
二軒家・社日塔	9.6 Km
四軒家	

<春秋社日塔>

社日とは、春分と秋分に最も近い成つちの元の日のことで、現在の暦でも社日と記された日を見つけることができます。

春の社日を春社しゅんしゃやというその年の豊作を祈り、秋を秋社しゅうしゃやという収穫を感謝します。社日という土地の神であり、大地の神とされています。

一般に農村では、この日に土地の産土うぶすな様さまを祀り、穀物を生成してくれる土地の神として、五穀の豊穰を祈る行事を行っています。この行事を欠かすと大地の神が怒り、その年の作物がよくとれなくなると伝えられています。

五ヶ角かぐむちゆうの正面には天照太照てらす大おおみ神かみ(農業の祖神)の名が記され他の四面には、埴(は)に安やす嬉(ひ)め(め)の命(み)こと(土の祖神)・倉(くら)が稲(いね)の魂(たま)の命(み)こと(五穀の祖神)・大(おお)お己(お)己(お)貴(お)ち(ち)の命(み)こと(大おお国くに主ぬしの命(み)こと、国土守護の神)・少(す)すくな彦(ひこ)に名(な)の命(み)こと(徐(せ)宿(じゆ)の神)とあります。古文書『春しゅん秋しゅう社(しゃ)日(にち)にち祭(まつ)さい』寛政(かんせい)三年(さん)一(いち)七(しち)九(く)一(いち)には、社日塔のお祭りの内容が詳しく記載されていますが、この日は心身を清(きよ)め、農作業を行(な)なかつたそうです。

「天照大神」の面が必ず北を向く。

神社境内の配置上、北に向くと参拝に不自然な時もキチンと北を向いている。

なお、上野地区の神社には、他に見られるものより大きな、高さ一メートル程もある社日塔があります。そこで、現在も春秋の社日に女性たちがお祭りをしているそうです。

<社日塔の五柱の神>

- 農業祖神：天照大神・天照皇太神
- 五穀祖神：倉稻魂命・稻荷宮
- 五穀守神：大己貴命・大黒天
- 五穀護神：少彦人命
- 土御祖神：埴安媛命・地神宮
- 道祖神：猿田彦

